
国立情報学研究所の学術機関 リポジトリへの取組み

国立情報学研究所

開発・事業部コンテンツ課長

尾城 孝一

ojiro@nii.ac.jp

「審議のまとめ」の提言

- 科学技術・学術審議会『学術情報の流通基盤の充実について(審議のまとめ)』(平成14年3月)
 - 電子ジャーナル等の体系的な収集
 - 学協会からの学術情報発信機能の強化
 - 学術情報の海外への流通を支援する仕組み
 - 大学等からの学術情報発信機能の強化

NIIのアクションプラン

- 電子ジャーナル等の体系的な収集
 - 電子ジャーナルリポジトリ(NII-REO)の運用(平成15年度～)
- 学協会からの学術情報発信機能の強化
- 学術情報の海外への流通を支援する仕組み
 - 国際学術情報流通基盤整備事業(SPARC/Japan)(平成15年度～)
- 大学等からの学術情報発信機能の強化
 - メタデータ・データベース共同構築事業(平成14年度～)

メタデータ・データベース共同構築事業

- 国内の大学・研究機関等が、インターネット上において発信している学術情報資源のメタ情報（二次情報）をデータベース化することにより、学術情報の円滑な流通を図り、各大学の研究成果を広く世界に発信することを支援

メタデータ規則の整備

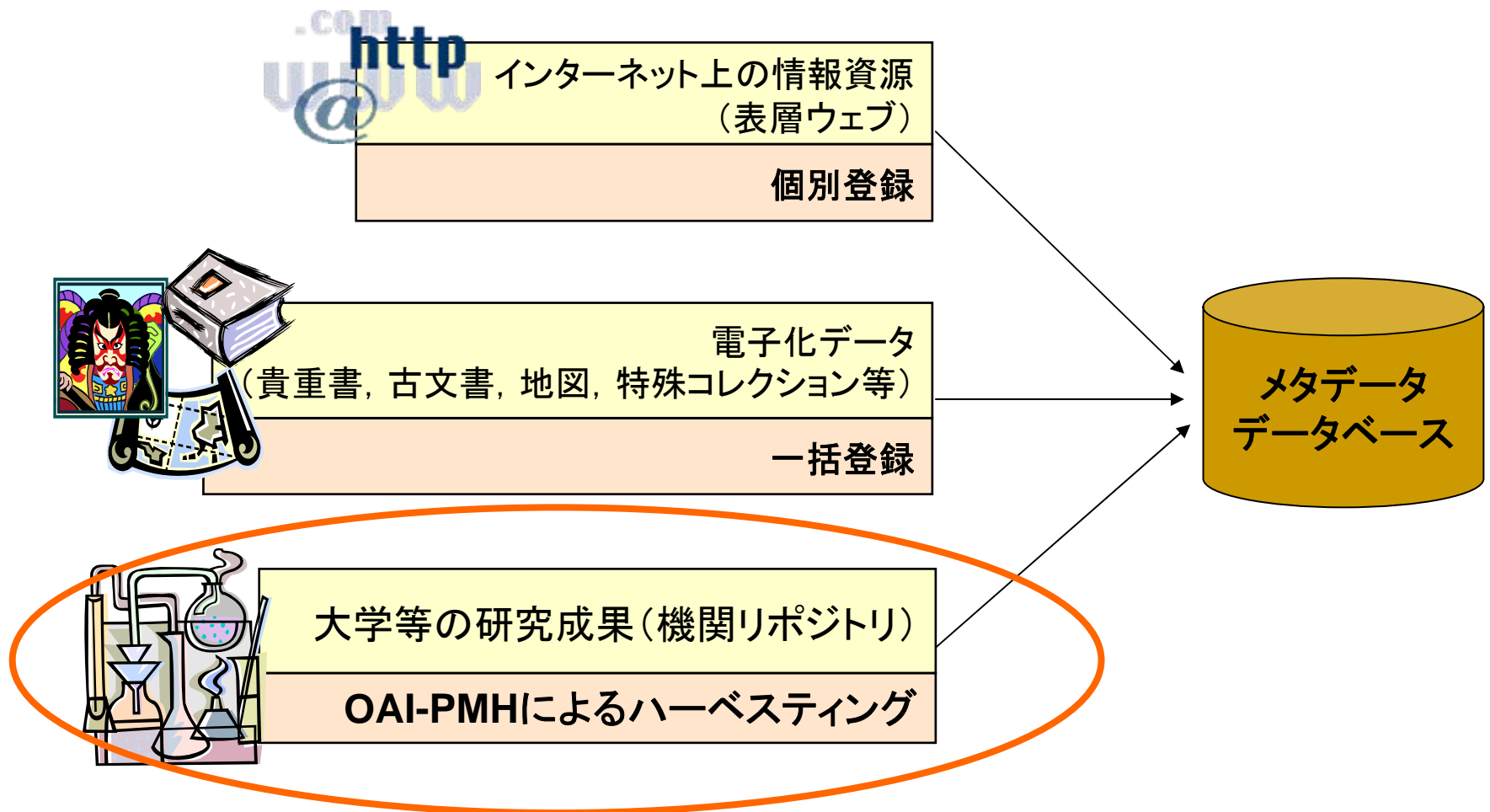
■ メタデータ記述要素

- <http://www.nii.ac.jp/metadata/manual/yoso.pdf>
- Dublin Core Metadata Initiative (DCMI) の定める記述要素 (Elements) に準拠した標準的なデータ形式を採用
- 必要に応じてNII独自の限定子を付加

■ メタデータ語彙集の制定

- <http://www.nii.ac.jp/metadata/manual/NII-category.pdf>
- 主題語彙集 (リソースの主題)
- 時代語彙集 (時間的特性)
- 地理語彙集 (空間的特性)
- 資源タイプ語彙集 (資源ジャンル)

メタデータ構築方式



事業の現況(平成17年8月末)

- 参加機関数 = 269
 - 国立大学 67, 公立大学 18, 私立大学 109, 短大 26, 高専 19, 研究機関・公共図書館等 30
- データ登録数 = 76,908
 - 個別登録: 21,497
 - 一括登録: 54,658
 - ハーベスティング: 753
- JuNii(大学情報メタデータ・ポータル)から試験提供
 - <http://ju.nii.ac.jp/>

問題点と限界

- 労働集約的作業の限界
 - 共同分担入力方式－CATでは機能したが...
 - 参加館にとってのメリットは？
- 品質管理の問題
 - リンク切れデータ(2,730件)
- Googleの存在
 - 差別化？
 - 優位性は？

機関リポジトリ支援へのシフト

- 機関リポジトリの登場と普及
 - 2002年のSPARCの2つのドキュメント
 - 『機関リポジトリ擁護論：SPARC声明書』(The Case for Institutional Repositories: A SPARC Position Paper)
 - 『機関リポジトリ・チェックリスト及びリソースガイド』(SPARC Institutional Repository Checklist & Resource Guide)
 - 全世界で400以上のリポジトリが運用中
 - <http://archives.eprints.org/>
- 方向転換
 - 機関リポジトリの支援→大学等における学術情報発信機能の強化

構築支援

- 各大学(研究機関)における機関リポジトリの構築支援
- システム構築
 - IRP(学術機関リポジトリ構築ソフトウェア実装実験プロジェクト)(平成16年度)
 - <http://www.nii.ac.jp/metadata/irp/>
 - 国立情報学研究所と国立大学図書館による共同プロジェクト
 - 北海道大学, 千葉大学, 東京大学, 東京学芸大学, 名古屋大学, 九州大学
 - オープンソース(DSpace, EPrints)の学術機関リポジトリ構築ソフトウェアの各大学における試行運用を通じ, その構築・運用に係る技術情報の蓄積・公開を進めていく
 - 報告書
 - <http://www.nii.ac.jp/metadata/irp/NII-IRPreport.pdf>
- コンテンツ構築
 - NII保有データの還元(紀要論文, 科研費データ等)

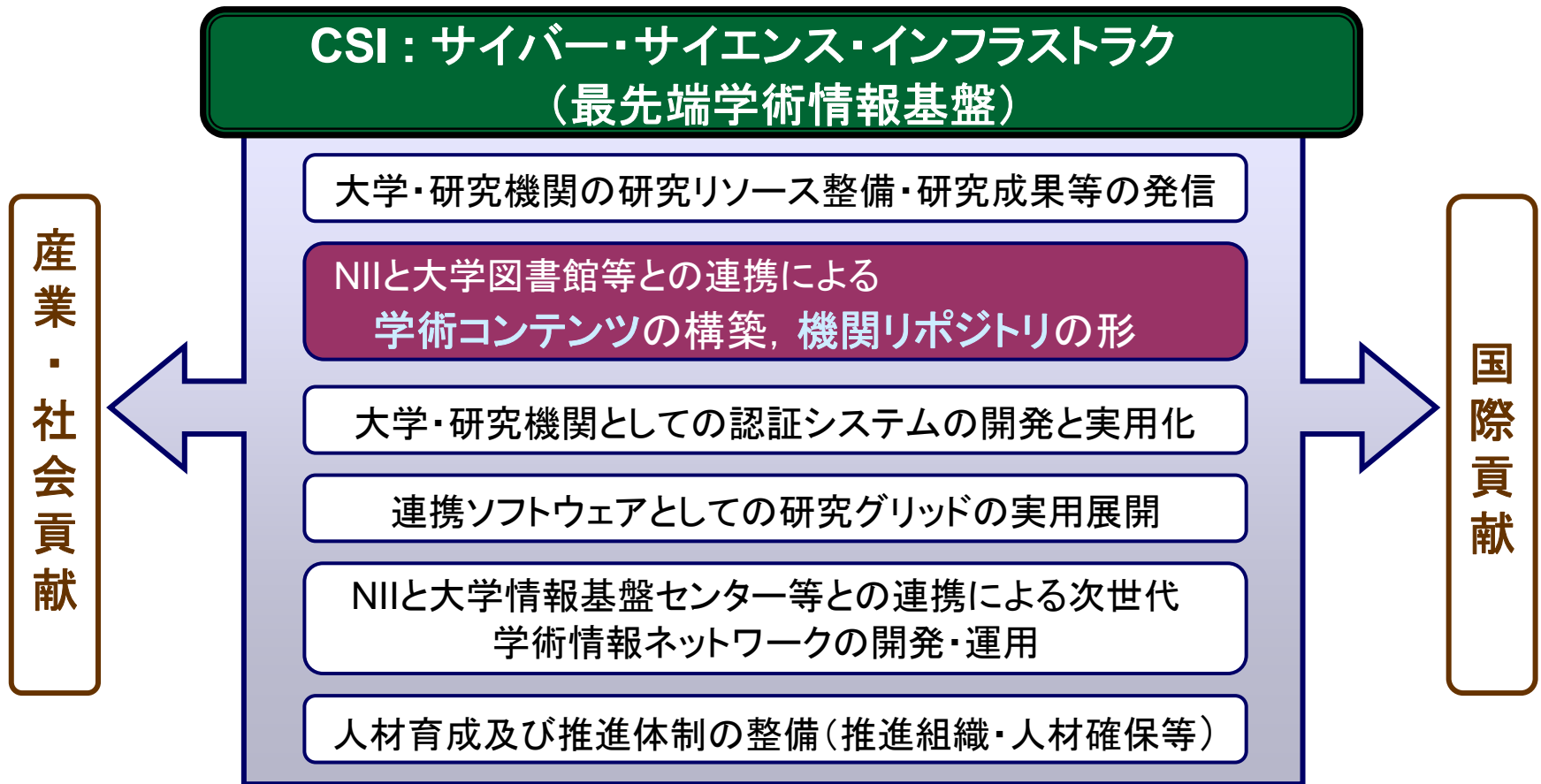
発信支援

- 機関リポジトリに蓄積されたコンテンツへの集客力を向上させるための支援
- 機関リポジトリのナショナルポータル構築
 - メタデータ連携(メタデータ統合DBの構築)
 - OAI-PMHによるメタデータ・ハーベスティング
 - <http://www.nii.ac.jp/metadata/oai-pmh/>
- 統合検索インターフェイス
 - JuNiiから発信

最先端学術情報基盤における位置づけ

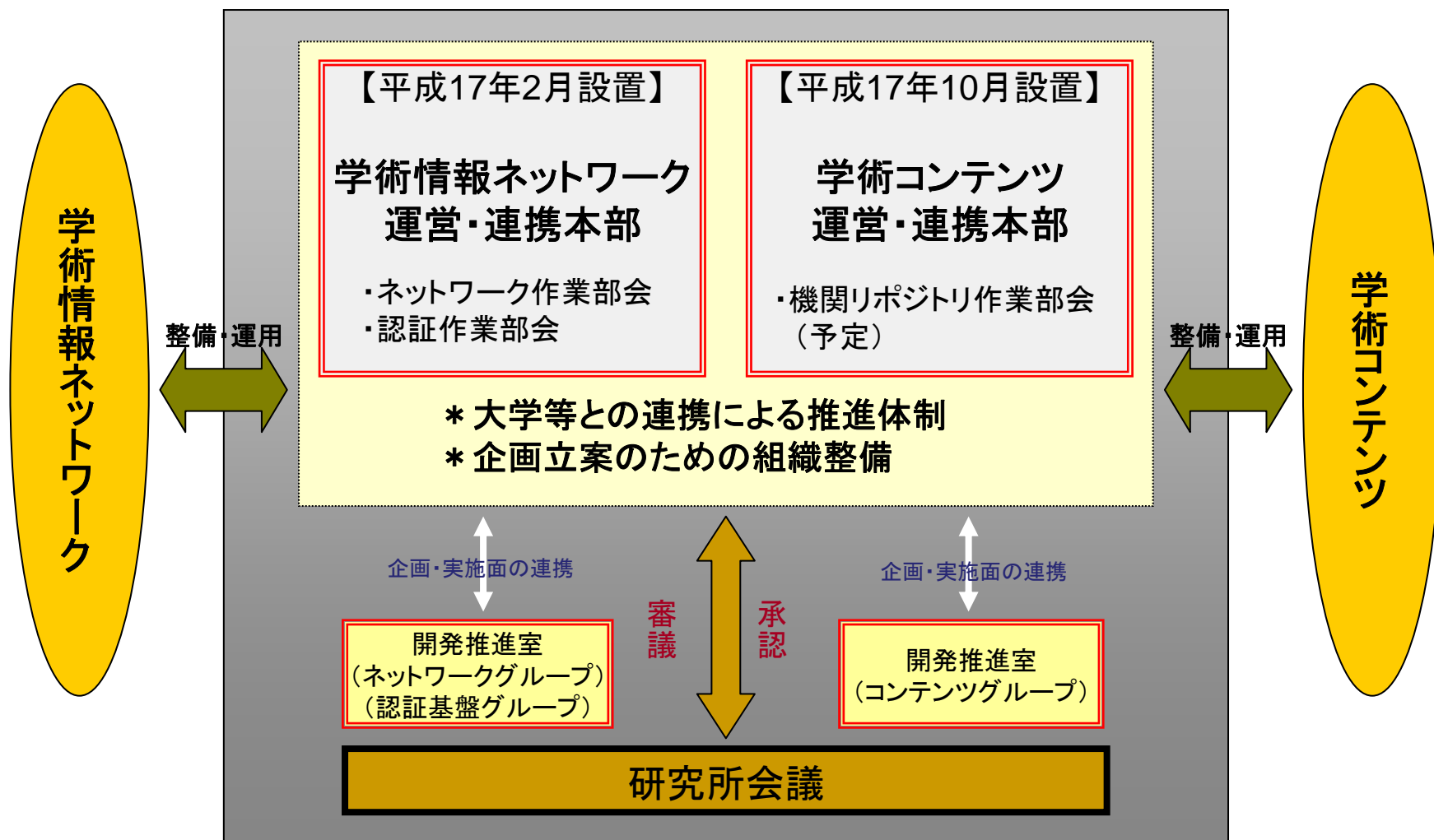
- 最先端学術情報基盤 (Cyber Science Infrastructure: CSI) とは
 - 「大学・研究機関のサイエンス, 研究成果 (計算資源, ソフトウェア, コンテンツ, ノウハウの総体), 「人」や研究プロセスそのものをも, 超高速ネットワークを通じて自在に連携・活用し, 研究・技術開発を促進させるための環境」(坂内所長)

CSIの概念図



最先端の学術情報基盤が、今後の学術・産業分野での国際協調・競争の死命を制す !!

運営・連携本部の設置

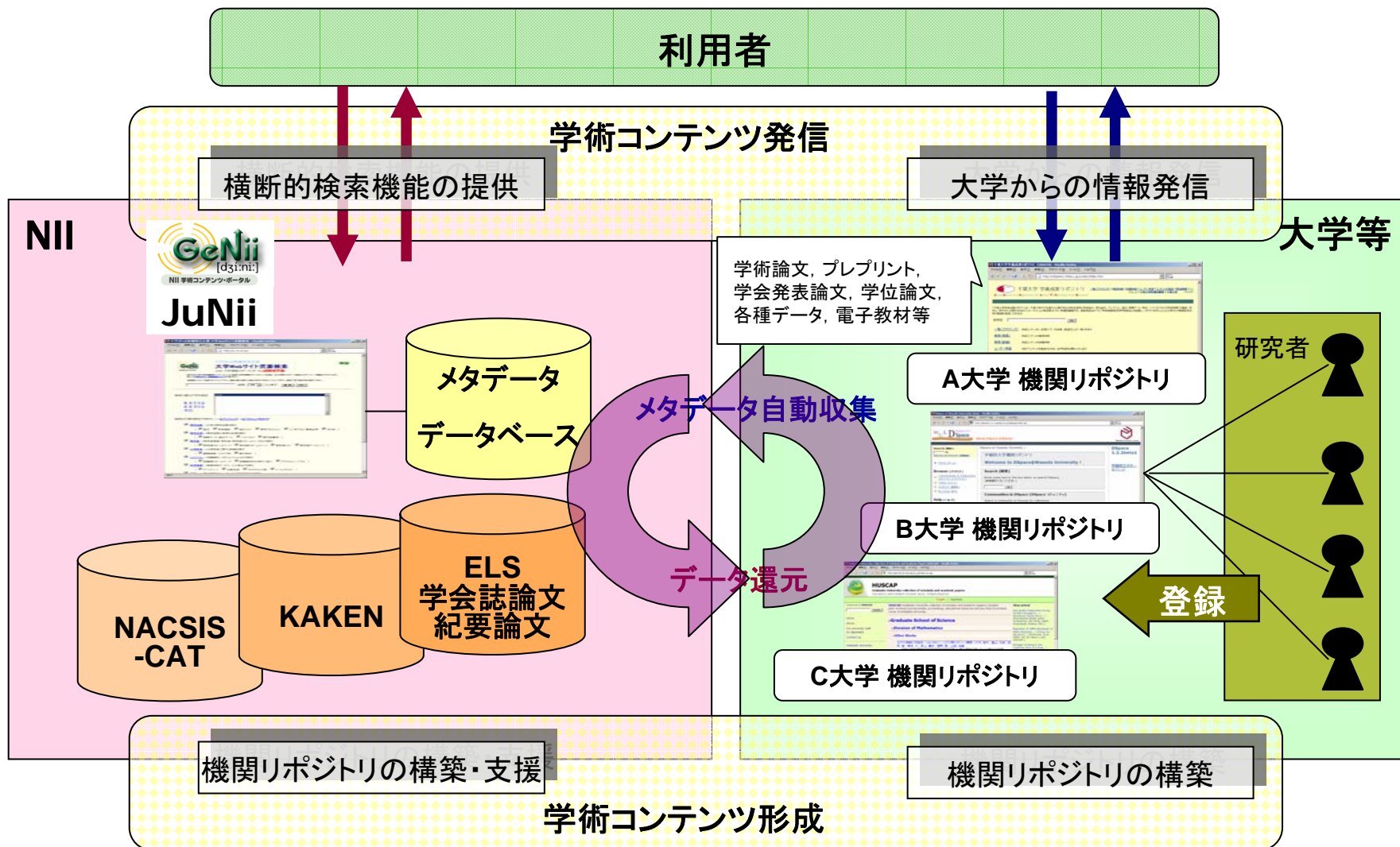


CSI構築推進委託事業の実施

CSIの構築推進のため、大学等学術研究機関との連携及び支援を目的とする委託事業

- 学術情報ネットワークの高度化・拡充と運用強化
- 認証基盤等のセキュリティ対応
- 連携のためのGRIDミドルウェアの運用
- **学術コンテンツの整備・拡充**
 - **機関リポジトリ構築・連携支援**
- 各研究分野のネットワーク利用支援
- CSI推進のための人材育成等

連携による形成と発信



国立情報学研究所の役割(1)

■ コミュニティの形成

- 意見交換, 情報共有のための場の提供(メーリングリスト, ホームページの開設)
- 各種会合の開催

■ 構築・運用支援

- 機関リポジトリ構築・運用の手引きの作成
- 広報宣伝活動の支援
- テクニカルサポート

国立情報学研究所の役割(2)

- 連携のためのシステム環境整備
 - メタデータ標準・規則の再整備
 - JuNii+の開発
 - GeNii/CiNiiとの連携
- その他
 - 機関リポジトリ担当者向け研修

おわりに

主役はあくまで大学図書館！